

観光

I. 運用指標 (Operation Indicator)

区分	指標名	指標作成方針・方法	ターゲット	目的	備考
補助	道路、空港、港湾、上下水道、植林等関連する他のセクターの運用指標を適用する				
補助	観光客入場者数 Number of Visitors	・対象施設内に入場した観光客数 ・年計、月計 (外国人・内国人に分けて把握することが望ましい)	需要予測値	対象施設が適正に運用(利用)されているかを評価	※サブプロジェクトにおいて、公園や博物館等の観光客を対象とする施設を整備する場合に適用することが適当と思料 ※運用指標としてだけでなく、効果指標としても重要な指標となる
補助	入場料金収入 Entrance Fee	・対象地域内への入園料 ・年計 (外国人・内国人に分けて把握することが望ましい)	需要予測値		

II. 効果指標 (Effect Indicator)

区分	指標名	指標作成方針・方法	ターゲット	目的	備考らの変更・改善点)
補助	観光客数 Number of Tourist	・地域全体(県や州単位)又は国全体 ・年計 (外国人・内国人に分けて把握することが望ましい)	需要予測値	途上国より要請のある観光案件は、外貨獲得を目的とするものが多いことや、各サブプロジェクトの目的も多岐にわたることから、このような案件においては、政策的な観点における上位目標的な位置付けとして、当該指標を用いることが適当と思料	
補助	観光収入 Income From Tourism	・国家財政における観光収入 ・年計	需要予測値		
補助	ホテル宿泊客数 Number of Hotel Guest	・地域内(個別/全体)の宿泊客数 ・年計、月計 (外国人・内国人に分けて把握することが望ましい)	需要予測値	対象地域における入込み客数を評価	ターゲットの設定に当たっては、宿泊客数に関する統計データが必要となる

(注) 過去の事例からも明らかのように、途上国からの要請の多くは、(1) 外貨獲得、雇用創出、地域開発等を目的とした観光振興や観光開発であり、事業目的も多岐にわたっていること、(2) また上記(1)を達成するための事業内容も、複数のサブプロジェクトから構成されており、具体的な整備対象も博物館等のいわゆる「ハコモノ」から道路、空港、港湾、上下水道等の「インフラモノ」並びに環境保全(植林)等まで多岐にわたるものとなっていることから、運用・効果指標の設定に当たっては、このような実態を考慮する必要がある。